

20051

当院の生体情報モニタとナースコール連携についての検討

<sup>1</sup>医療法人 永井病院

小坂 紗里架<sup>1</sup>、生田 耕一郎<sup>1</sup>、奥田 将<sup>1</sup>、宇佐美 俊介<sup>1</sup>、坂口 直也<sup>1</sup>

生体情報モニタから発信されたアラームに、医療者が迅速に対応することが出来ず、患者が重篤な状態に陥った医療事故が日本ではくり返し報道されている。当院では2011年8月より、生体情報モニタとナースコール連携を導入した。ナースコールと連携する機器は、心電図モニタのセントラルモニタ、送信機、ベッドサイドモニタならびに人工呼吸器の4点である。今回、当院での生体情報モニタとのナースコール連携について検討を行ったので報告する。